筑前町立中牟田小学校　学校通信

よぉ―し、やるぞ

平成　２８　年度
第　　１０　　号
校長　糸井　茂

「なぜ、宿題をしなければいけないのか!!」

「お母さん、なんで宿題をせんといかんとね。」「決まりやけんよ。子どもの義務よ。」幼い頃の私と母親の会話です。今回は、なぜ、宿題をしなければいけないのかについて考えてみます。

例えば、学校で三角形の面積を学習したとします。三角形の面積の公式は、底辺×高さ÷２です。学校では、面積の公式を意味もなく教えるのではなく、なぜ、底辺×高さ÷２で、三角形の面積が求められるのかを学習します。底辺×高さは、四角形の面積になるので、それを半分にすることで三角形の面積が求められるという「÷２」という考え方を図や計算式を使って学びます。授業の終わりには、「まとめ」を書き、三角形の面積の求め方が理解できたということになります。

ここで、問題なのは、理解できたから、三角形の面積が必ず解けるようになるかということです。脳科学的には、「人間の脳は、長い時間かけて学習したことは重要でないと認識し、短い時間に繰り返し学習したことは重要だと認識する」と言います。これを三角形の面積の学習にあてはめると、学校で１時間かけて学習した三角形の面積の求め方はその時は理解するが、しばらくすると忘れてしまう。しかし、繰り返して練習することで定着すると言うことになります。どんなに授業中に理解しても、繰り返して練習をしないと学習が定着しないと言うことです。ここに、なぜ、宿題をしなければいけないのかの答えが見えてきます。

なんの数字だと思いますか？

子どもたちに取ったアンケート「宿題をしているか」です。１学期のアンケートでは、宿題をしているが６２％でしたが、２学期は、９５％と大きく伸びています。これは学校、家庭の連携した取り組み（家庭とことん週間等）の成果だと思います。

今週は６回目の家庭学習とことん週間を実施しています。この家庭学習とことん週間のねらいは、家庭学習の習慣化です。次のような取り組みです。

・時間は、低学年２０分、中学年４０分、高学年６０分。
・宿題が終わったら復習、予習をする。
・家庭学習をする時間は、自分のスケジュールに合わせる。
・〇分間、テレビを消して集中して取り組む。
・チェック表に記入し、毎日保護者と担任のサインをもらう。

学校では、この家庭学習とことん週間の成果と課題を明確にして、次の取り組みに生かしています。ご家庭でも、お子様に、「がんばったね。」の励ましの声かけをお願いします。

「地震避難訓練!!」

１６日（月）は、地震避難訓練を実施しました。「これは、訓練です。強い地震です。頭を守ります。机の下に潜って、机の脚をしっかり持ちましょう。地震がおさまったら、先生の指示に従って体育館に集合しましょう。」と言う緊急放送で開始しました。子どもたちは、先生の指示に従い迅速に避難しました。今回は、逃げ遅れた子の対応も考え、実践さながらの訓練でした。

始業式に引き続き、子どもたちの態度の良さに感心しました。地震は、いつ起こるのか今の科学では、予知できません。もしもの時には、今回の訓練を生かしてほしいものです。